

集

俳句フォーラム

2021年1月 第78号



冬夕焼け

大山 夏子

雲の峰肩並べ合うビルの上
長き夜ラジオの機嫌に挺摺って
入院迫る空へいろどり来ておりぬ
立冬や他人任せの時間割
病室にチャイムが沁みる冬夕焼け

白桃

重原 爽美

山紅葉海を寂しくしたりけり
白桃の大きさを妻と分けたらす
無人駅灯は寂ぶさぶと暮れ早し
秋雨に濡れる松見て昼の風呂
小さき種蒔いた大根が食卓に

柿

石川 東児

籠いっぱい持って行けよと柿呉れる
砂丘渡る白秋の風沖さびし
富士夕映え日日に色付く烏瓜
満天の星と満ち潮冬に入る
天に召さるるジュリエットグレコバリも秋

祈り

仁上 博恵

納骨や寺に向かいて深む秋
幸せも自分で創るリングジャム
フルートの音色薄雲秋の天
老犬のモモ女郎花にも挨拶す
みほとけ展出でて祈りの暮れ早し

遠距離通勤

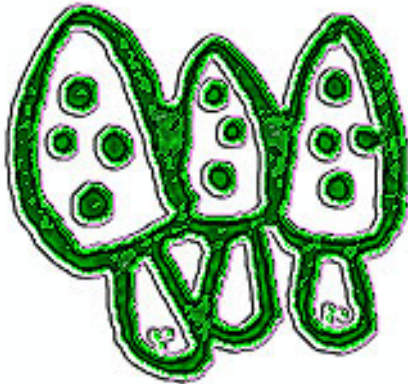
瀬戸 美文

鯨を釣る人を横目に急ぎ足
通勤路木の実一つが肩に落ち
誕生日を祝って届く林檎かな
下車間近枯芒との朝の礼
上弦の月に連れ立つ星一つ

十三夜

小笠原妙子

法師 蝉 尽 きる 命 を 知 る よう に
病 み 臥 す も 我 が 居 場 所 な り 十 三 夜
心 の 灯 点 す ゴ ッ ホ と 星 月 夜
宇 宙 船 も 星 の 一 つ や 冬 の 空
病 め る 日 は 焼 芋 を 買 ふ 気 ま ぐ れ に





膝の疵

大山 夏子

神の留守娘とも孫とも介護士ら
リハビリでふ暴力や窓に冬日
銀杏落葉類句類想蹴散らして
枯葉転がり来て術後の膝疼く
山茶花や悔いなくはなし膝の疵

三日月

江口 九星

葱もらい湯豆腐にして酒過ごす
冬三日月地球の神秘包み込む
柿の実の赤点々と秋が行く
赤とんぼの校庭かっつての二部授業
満月を独り占めする秋夜長

停戦

渡辺 節子

星降る夜国境争い停戦に
泡立草が今は主か廢線路
望郷のチェロの音哀し秋の夜
旅支度どれも着ぶぐれ定まらず
いずこでも居住まい正す除夜の鐘

蠱惑

中川のぼる

色あせた古文書ひもとく秋深し
悠久の空のいずこへ流れ星
夢と現の謎や桜の帰り花
寒蘭の葉の曲線も蠱惑なり
寒木瓜の神秘な紅さに問い掛ける

神秘

伊藤 昌枝

深秋や父の遺訓の文字なぞる
三日月や甲骨文字の神秘めく
勝手口に泥葱一把置き帰る
落葉焚一茶のことなど子らとして
人類の進化退化や囲炉裏端

冬紅葉

吉宇田麻衣

冬紅葉日暮れことさら赤く燃ゆ
今年だけ我慢の師走と天仰ぐ
冬めいてマスク通学無事祈り
空風や横綱の居ぬ国技館
案じてた師との再会冬桜

夕時雨

楠本 和弘

夕時雨樹海遙かに揺らぎけり
十三夜雲の切れ間の雅楽かな
天空の黄葉ゴツホの吐息かな
初立ちの幼に止まれ赤とんぼ
若沖の白黄に赤の曼殊沙華

膝

渡部 恭子

虫の秋膝に繕うアツプリケ
鱒雲生かさされていて人を恋う
名月に覗き見される小さき嘘
亡き夫の手編みセーター膝に載せ
冬青空透き通る声兒ら登校

時計屋

小澤えみ子

木犀の花少し入れ投函す
文化の日昭和の時計時計屋に
花八手テニスボールのよく響く
うたた寝の子の手の開き小春の日
ただいまと寒さまるごと飛び込み来

野宿

酒井たかお

文無しや砂丘に野宿月の客
芋掘りの子尻もちつく手高々と
木屋の大地に降らす金の雨
残照を目掛け水切り冬うらら
枯菊を剪る未練も少し陽だまりに

冬の月

由良 則子

塩むすび新米の香の豊かなり
色変えぬ松紵余曲折のありて尚
夕暮れて色なき街の返り花
息白し造語飛び交ふ少女らの
夫見舞い仰げば細き冬の月



今朝の秋

平野 無石

練り直す旅行のプラン今朝の秋
炎天や観客おらぬ甲子園
家ごもりを解きて無沙汰の墓洗う
ゆつくりと入れるコーヒー涼新た
まだ生きるつもりの一歩ちちる鳴く

東京タワー

都築 繁子

手入れ良き秋の梅園見て楽し
秋惜しむ余生自在のバスの旅
秋夕べ東京タワーが発光す
たまさかに友と冬日の木のベンチ
冬朝焼の美しき写メール好ましや

秋海棠

植木やす子

秋海棠黄色の蝶を呼び込めり
秋曇り今日も一日早や終る
秋の庭こおろぎ鳴くや右・左
秋深む一枚多く旅支度
一夜明け冷暖房の入れ替る

枇杷の花

田中 藤穂

また一枚喪中の葉書神無月
紅葉山彩濃くなりぬ昨日今日
庭に咲く冬バラ大輪異変めく
柿たわわ柚子たわわなり御成道
枇杷の花匂ひ鉄門閉ざされて

汐留

篠田 純子

式部の枝の纏れほどくや秋の風
棧橋に船酔したり秋の雲
若住職は男児を得たり秋彼岸
グリーンカーテンはためく庁舎台風来
汐留踏切遺構の錆や秋の風

幹の息

大山 夏子

紅葉にまだ届かぬ手なり退院す
神無月車椅子から歩行器へ
リハビリも順番待ちや暮れ早し
手の冷えは十一月の幹の息
干し柿のカーテン揺るるともなき日和

